



みなみ風たより

最近の皮膚科の話題から・・・

・皮膚科

立山 直 医師



〇もっと怖い

ヒト食いバクテリアの話・・・

いわゆるヒト食いバクテリアと呼ばれる細菌は3種類あります。

現在 話題になっているのはA群溶血性連鎖球菌によるもので死亡率は3割です。あとの2つは *Vibrio vulnificus* と *Aeromonas* 属のある種（いまだに名前が定まっていません）です。 *Vibrio vulnificus* は汽水領域（海水と淡水が混じりあうところ）に住んでおり、主に肝硬変患者が夏にこの菌に汚染された魚の生食し発症することが多いです。

私が医師になったころまで大学病院で肝硬変患者に夏に刺身が出ていました。海水との接触および魚介類により生じた創傷からの経皮感染もあります。外来で傷があるのに海水に入っているのかと聞かれますが、とんでもない海水は汚いと教えます。死亡率は7割です。

Aeromonas 属は水のある環境に偏在します（ubiquitous in aquatic environment）。

発症患者は *Vibrio vulnificus* と重なりますが糖尿病や白血病の患者にもまったく健康な人にも発症しています。死亡率は10割です。私の経験した3例は1日以内に亡くなりました。 *Aeromonas* については細菌のもつ能力という観点から研究されています。菌が産生する毒素（殺白血球能）、免疫機構を逃れる能力（菌膜の補体非結合能）などです。この二つの能力を強く持つ細菌は人類史上最強のバクテリアだと言えます。

では、この二つの菌から逃れることができるのか。確実な方法は考えつきません。肝硬変患者や免疫不全になっている患者は魚介類の生食には慎重になるべきです。

Aeromonas は酸に弱い性質があります。料理に酢を多用してください。

海水にはこれらの菌が生息していること念頭に置いて海遊びはしてください。皮膚科の沖縄の元同僚は海は入るもんじゃなくビーチでバーベキューをするもんだと言っていました。



◎病院改築について・・・

本年1月に始まった病院改築の中でも最も大きな工事部分である、新エレベーターが8月5日より稼働を始めました。病院開設時に設置されたエレベーターが建物とともに30年を超え、安全性や機能性向上の目的のため、更新を行いました。大型化したため、本館にエレベーター棟を増築し併せて会議室なども整備いたしました。

旧エレベーターは撤去し、空いたスペースに倉庫やストレッチャーのまま入るシャワー室などを設置いたしました。

エレベーターが稼働してすぐ、8月8日に震度6の地震が起きました。一時的なエレベーターの停止は起こりましたが、増築部分も含めて建物に大きな被害はなくその後の工事でも順調にすすめる事ができました。また、8月29日には、台風の接近に伴う大雨と竜巻と思われる突風の被害が出た地区も近隣にあり、工事への影響が懸念されましたが、こちらも幸い大きな影響がありませんでした。

被害に遭われた皆様にはお見舞い申し上げます。

10月には4階に拡張したリハビリ室の整備も行われ、いよいよ増改築終了となりました。約10か月の間、騒音や振動などで患者様はじめ近隣の住民の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今後も地域の皆様にとって、頼りにして頂けるような病院でありたいと願っています。

増築部外観



エレベーター棟

4F
リハビリ室
(100㎡)



小会議室



ストレッチャーシャワー室



2024.8月 エレベーター稼働式
山成院長・八尋理事長・戸田メイ設計事務所所長



◎2階病棟紹介

南部病院2階病棟は、2022年の10月から地域包括ケア病棟になりました。ベッド数は37床、所属看護師は17名です。（10月現在）

急性期治療が落ち着いた患者様の退院支援や退院調整に力を入れています。患者様の病気の改善だけでなく、筋力や体力の低下も予防し改善する事を目標に理学療法士（PT）や言語聴覚士（ST）と連携してリハビリなどを行っています。

すぐに自宅へ退院することが難しい患者様に対しては、医療ソーシャルワーカー（MSW）と連携して、御家族の希望に沿いながら自宅の設備を整えたり、療養型の病院や施設などに移れるように支援しています。医師や看護師、MSW、PT、STなどの職種で毎週3回のカンファレンスを行い、患者様を支援できるように努めています。

◎2階病棟多職種によるカンファレンス風景
職種・所属部署（看護師、リハビリ室、地域連携室）によって制服の色が異なります。



◎3階病棟紹介

3階病棟は、主に急性期の患者様を受け入れている病棟です。ベッド数は35床、所属看護師は20名です。（10月現在）

患者10名につき看護師1名が配置される10対1看護体制をとっています。

急性期病棟として、手術前後の管理に加えて、化学療法や内視鏡などの検査目的入院、終末期の看取り患者様も受け入れています。

最近では、患者様のQOLを重視し、安全な医療を提供しながら、身体抑制を最低限にする取り組みを行っています。

毎日多忙ですが、笑顔を忘れずスタッフ同士助け合いながら日々の業務にあたっています。



◎4階 新リハビリ室



◎3階病棟手術患者様搬入

歩行可能な方は、2階手術室までご自身で移動して頂く場合もあります。



○地域ふれあい企画 南部病院市民講座

○藤村医師による講演

9月14日 赤江地区交流センター（旧赤江公民館）にて、市民講座を開催いたしました。第一部は、乳腺外科 藤村医師による乳がん検診に関する講義、第二部は当院管理栄養士による肥満の予防と解消についての講演を行いました。講演の前には、“In Body”という体の成分

（筋肉量や脂肪など）を測定できる装置で、参加された皆さんの体成分を測定しご自身の体の状態を知って頂き、理学療法士から数字の説明や注意すべきポイントなどを説明させていただきました。

第一部の藤村医師の講演では、“乳癌検診を受けましょう！”と題し、日本人女性の乳がんが増えていること、検診の重要性について解説されました。適切な食生活と運動は大切ですが、どんなに気を付けても乳がんにならない方法はない、定期的な自己検診を習慣づけ、併せて自治体が推奨する検診を受けていくことで早期発見早期治療が可能になる事をお話されました。

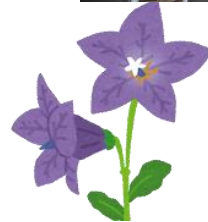
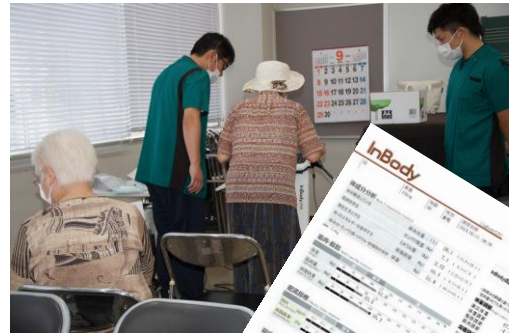
第二部では、管理栄養士から講演前に測定した体成分の結果を見ながら、肥満を予防するための食事について講演をいたしました。乳がんと肥満は関係が深く予防するためにはどうすればよいのか、具体的に当院の3人の管理栄養士の食事を見てもらい、それぞれの特徴や注目するポイントについて解説いたしました。

当日は急な降雨など天候不順もあった中、早くより来場され、熱心に講演を聞いて頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも皆様には有用な情報を提供できるような市民講座を企画できればと思います。



“In Body”による測定風景



測定結果

【発行】

医療法人社団 誠友会 南部病院
〒880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久891-14

【代表電話】0985-54-5353 (FAX) 0985-54-5160

【ナビダイヤル】0570-08-5353 【受付時間】平日 8時～18時

※ 代表電話混雑緩和のため、令和5年9月にナビダイヤルを導入いたしました。
ガイドンスに従って番号をお選び下さい。